

県内3カ所目の選定

織姫神社 足利 「恋人の聖地」に

七夕伝説など評価



「恋人の聖地」に選ばれた織姫神社

【足利】市内有数の夜景観賞のスポットであるほか、縁結びの神社として市民に親しまれている西宮町の織姫神社が1日、NPO法人地域活性化支援センターが運営する「恋人の聖地」に選ばれた。県内では3カ所目。申請した市観光協会は「これを機会に若い世代にもたくさん足利を訪れてほしい」としている。(太田啓介)

同神社は明治時代に建てられたがその後焼失、1937年に地元の織維業者らによって再建された。当時としては珍しい鉄筋コンクリート造りで、織姫山の中腹に朱塗りのお宮が際立つ。同協会は恋愛やプロポーズなどにまつわるスポットとして同センターに申請した。

同センターは少子化対策と地域の活性化を目指し、2006年から恋人の聖地プロジェクトを展開している。全国の観光地からロマ

ンチックなスポットを選定し、地域の新たな魅力作りや地域間の連携による地域活性化に貢献している。

現在、全国の127カ所が恋人の聖地として選定されている。県内では那須町の那須高原展望台と那須塩原市のみじ谷大吊橋に続

く選定。同神社はストーリー性がある「七夕伝説」などが評価され県南初の選定となった。

市観光協会は、恋人の聖地となった同神社を中心に、「出会い」や「縁」というキーワードで鑑阿寺やあしかがフラワーパーク

などの観光地をつなぎ合わせ、これまで以上に観光力を入れていく。担当者は「美しい夜景が見られる同神社を積極的にプロモーションすることで、多くの人に足利に宿泊してもらおう」と話している。

滞留型観光の創出を目指すと話している。